

【2022年7月】奈良国立博物館にて開催決定

じょうきょうばんたいまんだら
貞享本當麻曼茶羅修理完成記念 特別展

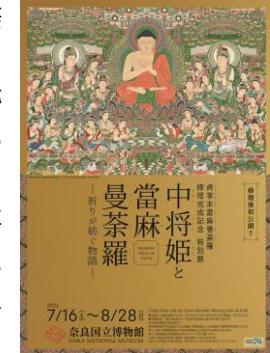
ちゅうじょうひめ つむ 中将姫と當麻曼茶羅—祈りが紡ぐ物語—

会期／2022年7月16日（土）～8月28日（日） 会場／奈良国立博物館

奈良国立博物館にて2022年7月16日（土）～8月28日（日）の期間、貞享本當麻曼茶羅修理完成記念 特別展 中将姫と當麻曼茶羅—祈りが紡ぐ物語— を開催いたします。

奈良・當麻寺の本尊である綴織當麻曼茶羅（国宝、當麻寺蔵）は、1250年前に現れた奇跡の曼茶羅として尊ばれてきました。そして、その成立に極楽往生を望んだ奈良時代の貴族の娘である中将姫が関わったことは、鎌倉時代から現在にいたるまで、広く知られています。

この奈良時代の綴織當麻曼茶羅を、江戸時代に写したものが貞享本當麻曼茶羅で、貞享3年（1686）に完成しました。本展は、この貞享本當麻曼茶羅の本格修理が、このたび完成したことを記念して開催する展覧会です。修理後のその美しい姿をご覧いただき、修理過程で確認された新資料を紹介しながら、貞享本製作プロジェクトの全貌をお示しとともに、貞享本の製作を當麻曼茶羅信仰史のひとつの画期と捉え、周辺の當麻曼茶羅信仰や、運動する中将姫信仰の動向についてご紹介いたします。日本一の靈像として信仰され続けてきた當麻曼茶羅と、女人往生の主人公として長く人々に愛されてきた中将姫が人々に尊ばれ、そして人々を救ってきた歴史に触れていただければ幸いです。



開催概要

名 称：貞享本當麻曼茶羅修理完成記念 特別展 中将姫と當麻曼茶羅—祈りが紡ぐ物語—

会 期：2022年7月16日（土）～8月28日（日）

会 場：奈良国立博物館（奈良市登大路町50）

休館日：毎週月曜日（ただし、7月18日【月・祝】・8月15日【月】は開館）、7月19日（火）

開館時間：午前9時30分～午後6時（毎週土曜日は午後7時まで）※入館は閉館の30分前まで

※同時開催のわくわくひじゅつギャラリー（東新館）、名品展（なら仏像館・青銅器館）とは休館日・開館時間が異なります。

また、会期・開館時間等は今後の諸事情により変更する場合があります。詳しく述べ奈良国立博物館公式ホームページをご覧ください。

主 催：奈良国立博物館、當麻寺、読売新聞社、NHK奈良放送局

協 力：日本香堂、仏教美術協会

お問合せ：050-5542-8600（ハローダイヤル）

奈良国立博物館公式ホームページ：<https://www.narahaku.go.jp/>

※料金の詳細は、決まり次第お知らせいたします。

広報画像提供について

【1】～【3】の広報用画像をご提供いたします。ご希望の場合は、下記よりお申ください。

申込フォーム <https://forms.gle/66bfDr5E67aL2ZZi7>

※入力が難しい場合は、広報事務局までお問い合わせください。



【2】

重要文化財 當麻曼茶羅（貞享本）
江戸時代・貞享3年（1686）
奈良・當麻寺



【3】

【報道に関するお問い合わせ】

特別展「中将姫と當麻曼茶羅—祈りが紡ぐ物語—」広報事務局（ネネラコ内）

TEL／06-6225-7885 FAX／06-7635-7587 E-MAIL／chuohimeten@nenelaco.com

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル